

よしもと宮崎県住みます芸人と宮崎大学による地域連携活動 —小林市のじりこぴあ活性化プロジェクト—

○丹生晃隆, 金武 由, 川越新菜¹, 甲斐大道², 嫁恐竜(佐藤利洋, 戸波雄輔)³

1. はじめに

宮崎大学の丹生研究室では、よしもと宮崎県住みます芸人「嫁恐竜」とともに、宮崎県小林市の総合レジャースポット「のじりこぴあ」の再活性化を目指したプロジェクトに取り組んでいる。2023年度の実践活動のテーマを考える際、ゼミ生の共通の話題として、「お笑い」があることが分かった。具体的な活動を検討する中で「住みます芸人」の存在を知り、教員からコンタクトをとったところ、大学と連携することに興味を持っていただいたことが連携のきっかけとなった。2023年11月に最初の打ち合わせを行い、「嫁恐竜」が再活性化に取り組んでいる「のじりこぴあ」でのイベント開催に向けて準備を進めてきた¹⁾。本報告では、お笑いと地域活性化を組み合わせた地域連携活動として、「カエル祭り」の取り組みを紹介する。

2. 来場者アンケート調査

イベントの企画にあたって、のじりこぴあの来場者層を把握するため、2024年1月28日にアンケート調査を行った(52部回収)。調査の結果、来場者層として、30代(35.3%)や40代(27.5%)の家族連れが多いこと、10代(0%)や20代(17.6%)の来場者は少数であること、満足したものとして「無料の遊具(76.0%)」、「駐車場(38.0%)」、来た理由・目的として、「子どもを遊ばせるため(61.5%)」、「無料で遊べるから(40.4%)」の回答割合が高いことが示された。

3. イベントの概要

具体的なイベントの企画検討にあたって注目したのは、自由回答でイベントのアイデアとしてとして書かれていた「カエル祭り」である。のじりこぴあには「Uターンカエル」というキャラクターがあり、園内には数多くのカエルの置物があった。このカエルを一つの地域資源として捉え、イベントの内容を検討した。具体的な内容として、宮崎大学サークルパフォーマンス(〜歌って踊って笑ってケロ〜)、カエルなりきりコンテスト(〜カエルに生まれカエル〜)、嫁恐竜とプラバン作り(〜思い出持ってカエル〜)、道にチョークでお絵描きをするストリートペイント(〜塗りカエル〜)を企画し、のじりこぴあストリートライブと合同での開催とした。



4. まとめ

当初予定していた回(6月23日)は雨で中止となったが、改めて企画を行い、10月27日に開催した²⁾。イベントには、関係者を含めて約300人が参加し、大学生による企画とパフォーマンスに会場は大いに盛り上がった。発表時には、産学連携や地域連携の視点から、お笑いと地域活性化を組み合わせることの可能性や連携活動の意義についても考察したい。

【参考文献等】

備考: Web ページへのアクセス日は2024年11月5日

- 1) BS よしもと (ch265)「キクテレミラジ 265」「小倉淳の 47 フォーカス」(2024年4月17日) 宮崎県住みます芸人嫁恐竜の BS よしもと企画「『のじりこぴあ』の来場者数増加!」第12弾 <https://www.youtube.com/watch?v=opr0HsXm0Bs>
- 2) 宮崎大学プレスリリース(2024年10月22日) 宮大生が宮崎県住みます芸人「嫁恐竜」と連携してイベントを企画〜「のじりこぴあ カエル祭り」を開催〜 https://www.miyazaki-u.ac.jp/public-relations/20241022_04_press.pdf

¹ 宮崎大学 地域資源創成学部 企業マネジメントコース

² 吉本興業カンパニー 株式会社よしもとセールスプロモーション&エリアアクション

³ よしもと宮崎県住みます芸人

==== ===== ===== ===== メモ欄 ===== ===== ===== ===== =====